

2022年度第1回理事会議事録

日時：2022年4月8日(金)17:00～19:00

会議形式：対面とオンラインのハイブリッド開催

出席理事：田辺、田村(途中参加)、山田、原田、鳥海、鶴飼、山下、永井、土谷、野々部、諸星、西松、森口、奥田、古川、田中

欠席者：田口

出席監事：細田

欠席監事：松林

庶務幹事：松本(書記)

事務局：長谷

【議長の選出】

原田庶務理事より、「定款第32条にもとづき、理事会の議長は会長がこれに当たるとあるが、田口会長が欠席のため、代表理事の中から議長を選出する」との説明があり、田辺副会長が議長に選出された。

【定足数の確認】

議長である田辺副会長より、「定款第31条にもとづき、出席している理事の人数は定足数である9名(決議にて特別な利害関係を有する理事を除く理事17名の過半数)以上であることから、理事会は成立する」との説明があった。

【議事録署名人】

田辺副会長より、出席している会長、副会長、監事が署名人であり、本日出席している副会長3名と監事1名が該当すると説明された。

【メール審議の確認】

前回議事録の確認

田辺副会長より、議事録はメール審議により役員全員から承認され、署名済みの議事録が内閣府に提出済みであるという確認があった。

2023年春季研究発表会・シンポジウム計画案

田辺副会長より、計画案はメール審議により役員全員から承認されているとの確認があった。

【審議事項】

A-1. 入会・シニア・特別会員承認の件

鳥海庶務理事より説明があり、承認された。特に、2021年度の1年間でみると過去最大の減少幅であり、今後も継続するようであれば対策が必要であるというコメントがあった。一方で、学生会員の増加が多かったことも報告があった。これまでの理事会資料の会員数は、それ以前の理事会資料からの差分という形式で集計されており、会員管理システムと連動していなかったが、新会員管理システムの稼働により改めて集計したところ、ずれが生じていることが明らかになったため、本理事会資料では調整という項目により修正しているとの報告があった。

A-3. 2022 年度理事会等日程の件

鳥海庶務理事より説明があり、理事会および議案提出スケジュールについて承認された。

山下研究理事より、支部長会議をシンポジウム当日に開催することは現地実行委員の負担になるため、別日とすることを研究普及委員会で議論しているとの指摘があった。鳥海庶務理事より、オンライン開催とすることも含めて再検討するが、実行委員会の結論が出ていないので、現状では原案通りの日程で開催したいという説明があり、承認された。

A-4. 2022 年度委員及び幹事委嘱の件

各委員及び幹事委嘱について報告があり、承認された。特に広報委員会では委員長と理事が同時に交代になるが専任に残ること、渉外委員会では理事と委員が交代になるが、同じ体勢であることの報告があった。また、論文誌編集委員については 5 月理事会での議案となるが、理事については通常総会で交代することが確認された。

A-5. 2022 年秋季研究発表会・シンポジウムの概要および予算案

山下研究理事より説明があり、承認された。田中大会理事より、予算案は対面、ハイブリッド、オンラインで検討していて、新潟県と新潟市から補助金が出ているが、黒字の場合、返却することになることが説明された。2022 年秋季研究発表会の概要についても報告があった。特別企画が交渉中であり、企画がなくなったとしても、特別講演を代替として 1 件考えていて、コストは追加となるが、新潟県と新潟市に返還するコストから捻出できると考えているとの説明があった。また、秋季研究発表会では懇親会を開催しないことが確認された。

A-11. 機関誌冊子体費用の件

機関誌 WG の田村副会長より 3400 円の値上げについて説明があり、承認された。ここでのポイントは実費負担となること、金額の妥当性、負担するのは正会員のみであることが共有された。正会員のみである点については、学生会員は紙の冊子は読まないであろうという想定があること、シニア会員と特別会員は人数が少ないため、対象外としたことが報告された。今後多くの学生会員が紙の冊子を必要としているということがわかった場合は再検討することが確認された。

A-2. 2022 年度総会資料の件

第 1 号議案 2021 年度事業報告の件

鳥海庶務理事より各事業について説明があり、承認された。

第 2 号議案 2021 年度決算報告と監査報告の件

諸星会計理事より支出については減少しているものの、正会員が減少し、研究発表会がオンライン開催になることによる広告収入の減少などがあり今年度は赤字であることについて説明があり、承認された。

細田監事より、監査の方法とその内容について説明があり、承認された。

第 3 号議案 2022-2023 年度役員承認の件

田辺副会長より総会議案にすることについて確認があり、承認された。

第 4 号議案 機関誌冊子体の実費負担の件

田辺副会長より総会議案にすることについて確認があり、承認された。

報告 1 2022 年度事業計画書

田辺副会長より総会で報告することについて確認があり、承認された。

報告 2 2022 年度終始予算書

田辺副会長より総会で報告することについて確認があり、承認された。

A-6. 2023 年春季研究発表会・シンポジウムの後援について

山下研究理事より、中央大学が後援に入ることについては研究普及委員会と理事会で承認が必要であることや、これにより教室利用料が無料になることなどの説明があり、承認された。

A-7. 2022 年度研究部会・グループ追加補助金申請

山下研究理事より説明があり、承認された。

A-8. 支部規程細則の改正について

奥田支部理事より現状に合わせての変更であるとの説明があり、承認された。

A-9. 九州支部規約改正について

奥田支部理事より説明があり、承認された。鳥海庶務幹事より九州支部以外についても今後改正していく可能性があることが補足された。

A-10. 学会員からの提案受付体制の整備

鵜飼国際理事より、本部所属の学会員については意見を学会に伝える方法がないため、目安箱のようなシステムを今後作る必要があるのではないかという主旨の説明があり、承認された。

A-12. 職員就業規程改訂の件

原田庶務理事より改定の動機と主要な変更点について説明があり、承認された。鳥海庶務理事より、変更点についてはすでに事務局の職員への説明会を開催済みであるとの補足があった。

A-13. 2021 年度第 3 回 OR セミナー収支報告について

永井普及理事より説明があり、承認された。
オンラインが良いというコメントが多く、今後もオンライン開催を検討することについても説明があった。

【報告事項】

B-1. 会員管理システム移行完了の件

鳥海庶務理事より説明があり、トラブルはあったものの無事に終了し、会員管理業務が軽減され、支払い方法が多様化されたことが報告された。

B-2. 2022 年度 IFORS Fellow 推薦

鵜飼国際理事より大山達雄元会長を推薦することについて報告された。前例のないことであり、今後どのように対応すべきか、ORSJ が毎年対応すべきなのかどうか、参考意見書を出してほしいと学会に依頼があった場合どうするかなど事前に対応を決めておくべきという議論があったが、今後推薦者あるいは被推薦者から参考意見書に関する依頼が学会にあったとしても、学会あるいは理事会として対応することはしないという結論となった。

B-3. 2021 年度研究部会・グループ活動報告

山下研究理事より活動について報告があった。

B-4. 研究発表会・シンポジウム手引きの改訂

山下研究理事より、改訂の要点について報告があった。

研究発表会とシンポジウムの同時開催は大変であるため、シンポジウムは原則開催だが、開催しないことも認めるようにしたいと考えていることについて意見交換したいというコメントがあった。これに対して、関連する話として研究発表会とシンポジウムの参加申込が別々になっており、申込先を間違えるなどの間違いがあり、事務局の負荷となっているとの意見があった。また、シンポジウムを開催するのであれば、研究発表会の一部とすることでどうかというコメントがあったが、賛助会員になるモチベーションの1つとしてシンポジウムがあると思われるので、シンポジウムだけの参加ができるとしておくほうが良いという意見もあった。

新会員管理システムに移行したことで非会員が申し込めるかどうかという質問が出たが、当該イベントのみのマイページというものもあるので非会員の方でも申し込むことは可能との回答であった。

シンポジウムに非会員がどの程度参加しているのかという質問に対しては、収支報告から把握できるという回答であった。直近3回の研究発表会・シンポジウムはConnpassで参加受付をしていたので、会員種別ごとに両者の参加人数を把握することは可能であるという補足があった。

B-5. 2021 年度後半代表理事職務執行状況報告

鳥海庶務理事から全体の報告があり、田口会長(鳥海庶務理事による代弁)、田辺副会長、田村副会長、山田副会長よりそれぞれ報告があった。

B-6. 次回理事会議事

鳥海庶務理事より次回の理事会は5/27にハイブリッドで開催予定であることと、議案提出スケジュールについて説明された。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2022 年度 第 1 回理事会

議事録署名人

(副会長) 代表理事 田辺 隆人

(副会長) 代表理事 田村 明久

(副会長) 代表理事 山田 昭雄

監 事 五十嵐 順子